

平成26年度海外拠点活動計画書（様式）

<p>1. 海外拠点（重点地域）の名称</p> <p>(1) 重点地域名：東南アジア</p> <p>(2) 海外拠点名：筑波大学クアラルンプールオフィス</p> <p>(2) 所在地：Jalan Semarak, 54100 Kuala Lumpur, Malaysia Malaysia-japan International Institute of Technology (MJIT) University Teknologi Malaysia Kuala Lumpur the University of Tsukuba, Kuala Lumpur Office</p> <p>(3) 連絡先：筑波大学クアラルンプールオフィス 筑波大学生命環境エリア支援室：029-853-91889</p>
<p>2. 海外拠点活動実施のための組織</p> <p>(1) 地域責任者：久武 幸司</p> <p>(2) 運営管理者：白岩 善博</p> <p>(2) 副運営管理者：杉浦則夫</p> <p>(2) 上記以外の参加者：</p> <p>本 学： 15 名（運営委員会 H26 に設置予定）</p> <p>相手国： 2 名（H26 年度途中から、3 名の予定）</p>
<p>3. 平成26年度活動目標</p> <p>本オフィスは、マレーシア全土および近隣諸国の大学・研究機関と本学との連携拠点としての機能を担うことを目標とする。特に、MJIT/UTM を拠点として、藻類バイオマスエネルギー研究（微細藻類の培養システム構築と水資源・水処理技術の融合を含む）に関する共同研究体制の構築を主要目標とする。</p>
<p>4. 平成26年度活動実施計画の概要</p> <p>1. 研究教育の連携のため、以下のプログラムを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ JASSO や JSPS、大学独自予算などによる共同研究を前提としたマレーシアからの留学生の受入・ ジョイントディグリープログラム推進による双方向の学生学位取得促進 <p>2. 交流や学術連携を推進するため、以下のプログラムを実施もしくは開催に協力・参加する。</p> <p>(交流)</p> <ul style="list-style-type: none">・ Tsukuba Day の実施・ マレーシア連携シンポジウムの実施 <p>(学術連携)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 藻類バイオマスエネルギー国際共同研究シンポジウム開催・ MJIT-JUC ジョイントシンポジウムの開催協力・ 水資源・水環境比較調査研究の実施

3. 日本の大災害時の情報寸断時に、筑波大学が情報孤立状態にならないよう海外オフィスサポートする体制を整備する。
4. マレーシアからの筑波大学への来訪や、マレーシアへの筑波大学関係者の訪問が円滑に行われるようサポートを行い、連携構築や強化をアシストする。
5. その他 オフィス運営会議等の実施により運営体制の見直しと強化を図る。

5. 平成26年度活動実施計画（月毎の具体的な実施計画及び実施の結果期待される効果について記載願います。）

	実施計画	詳細
4月	23日 マレーシア工科大学（UTM）と筑波大学の連携推進	UTM ジョホールバルキャンパスとの研究教育のための連携促進について、筑波大学において代表団と意見交換を実施する。
5月	1日 GLOBAL OUTREACH PROGRAMME@JAPAN (SAKURA'14)によるマレーシア工科大学と筑波大学の交流	UTM 学部学生代表による日本訪問の際に、日本の大学の代表として筑波大学を訪れ大学紹介や授業参加、学生交流等を行うことで連携を強化する。 なお、UTM 学生は4月28日～5月4日の間、筑波大学一の矢学生宿舎を拠点に、マレーシア大使館訪問等様々なプログラムに参加する。
	マレーシアジョホール州政府関係者による筑波大学および研究学園都市視察	UTM 執行部を含むマレーシアジョホール州の州政府関係者による筑波研究学園都市の視察をサポートすることで、州政府との連携を強化する。
	21日～23日 UTM 学長フォーラム 2014	マレーシア・ジョホールバルで開催される同会議に白岩系長が参加し、International Collaboration Sharing をテーマに発表し、連携強化を促進する。
	22日 マレーシア日本国際工科院（MJIT）と筑波大学の連携推進	MJIT と筑波大学の実務者レベルでの会議を行うことで、ジョイントスーパービジョン等を含めたMJIT と筑波大学の研究教育連携の推進を行う。
	水資源・水環境比較調査研究会合	マレーシアで行われる水資源・水環境調査研究について本学研究者、学生実務者と会合を開き、国際共同研究活動を推進する。
	MJIT Environmental Green Technology (EGT)小委員会会合	MJIT の EGT 小委員会会合を行い、EGT の運営サポート等を強化する。
6月	MJIT 学部学生の筑波大学受入	MJIT 学部学生対象インターンシッププログラムによる学生を受け入れることで MJIT との教育、研究の連携を促進する。

7月	MJIT 大学院生の筑波大学受入	マレーシア政府のサポートによる MJIT 共同指導奨学金プログラムでの大学院生を受け入れることで MJIT との教育、研究の連携を促進する。
	ジョイントディグリープログラム推進会議	MJIT と本学でのジョイントディグリープログラム構築に関してチューニングを含む意見交換を行い、プログラムの実現を目指す。
8月	日本大学コンソーシアム (JUC) 会合	JUC 会合を日本の外務省で行うことで、MJIT の運営サポート等を強化する。
	EGT 小委員会会合	MJIT の EGT 小委員会会合を行い、EGT の運営サポート等を強化する。
	MJIT 院長の筑波大学訪問	RubiyahMJIT 院長が筑波大学を訪問し、さらなる連携強化のためトップセールスを行う。
	MJIT 学部学生の筑波大学受入	MJIT の学生を受け入れることで研究教育連携を推進すると共に、ジョイントスーパービジョンの体制を確立し今後の学生の学術交流基盤を作成する。
9月	JASSO 「MJIT 大学院学生共同指導プログラム」面接	JASSO のサポートによる MJIT 大学院学生共同指導プログラムの現地面接実施のサポートを行う。
	水資源・水環境比較調査研究実施	9月から11月にかけて水資源・水環境比較調査研究の実施およびサポートを行い、国際共同研究活動を推進する。
10月	筑波大学長のクアラルンプールオフィス訪問	学長がマレーシア KL オフィスを訪問することで連携促進等についてのトップセールスを行う。
	Tsukuba-Day 実施	永田学長の UTM MJIT 訪問に合わせて、Tsukuba-Day 実施し、マレーシア KL オフィスを中心に本学をアピールする。
	藻類バイオマスエネルギー国際共同研究シンポジウムの開催	マレーシアで藻類バイオマスエネルギー国際共同研究シンポジウムを開催し、筑波大学と MJIT や UTM との学術交流のさらなる活性化を図ると共に、若手研究者や大学院生に海外での発表の機会を与える。
11月	MJIT-JUC ジョイントシンポジウム参加、協力	クアラルンプールで行われる MJIT と JUC が共同で実施するジョイントシンポジウム開催の協力を行うと共に、本学からもシンポジウムに参加することで、MJIT および JCU 参加校との間の連携を強化する。

	オフィス運営会議開催	筑波大学クアラルンプールオフィスの運営会議を行い、オフィスの効果的運営を強化する。
	マレーシア連携シンポジウムの開催	筑波大学において県、市、大学内研究者などを集め、クアラルンプールオフィスの活動報告やシンポジウム、交流会を行い、オフィス運営の理解と協力を得る。
12月	JASSO「MJIT 大学院学生共同指導プログラム」学生受入	MJIT 大学院学生共同指導プログラムによる大学院生を受け入れることで MJIT との教育、研究の連携を促進する。
	JUC 会合	JUC 会合を日本の外務省で行うことで、MJIT の運営サポート等を強化する。
	MJIT EGT 小委員会会合	MJIT の EGT 小委員会会合を行い、EGT の運営サポート等を強化する。
2月	来年度の事業計画立案	平成 27 年度の事業計画を立てる。
時期未定	マレーシア科学大学 (USM) との部局間協定締結	生命環境科学研究科と School of Biological Sciences との部局間協定を締結する。
通年	国際連携環境学際プログラム (SUSTEP) の推進	生命環境科学研究科のマレーシア国内の諸大学と環境化学分野における大学院レベルの国際共同教育プログラム推進をサポートする。本プログラムによる本学への留学希望者がいた場合は、面接等の実施の調整等も行う。
通年	大学の世界展開力強化事業の推進	本学が推進する大学の世界展開力強化事業：ASEAN 横断方グローバル課題挑戦的教育プログラムの諸事業の実施をサポートする。本プログラムによる本学への留学希望者がいた場合は、面接等の実施の調整等も行う。
通年	大災害時等リスク分散のための海外拠点利用推進	東日本大震災の際は日本国内の情報網が寸断され情報が筑波キャンパスから発信出来ない、もしくはアクセス出来ない時に備え、本オフィスから情報発信できるよう体制を整える。
通年	他機関オフィス等の交流推進	英国イースト・アングリア大学マレーシアオフィスやリバネス・クアラルンプールオフィス、島津製作所 アジア・パシフィック (シンガポール) 等、

		本学と関係のある他機関オフィスや出張所等と交流を行うことで、日本でのネットワークに加えて、マレーシアでのネットワークを構築し、連携を強化する。
通年	筑波大学 ASEAN 諸国事務所との連携強化	本学のホーチミンオフィスや、ジャカルタオフィスとの連携を強化することで、筑波大学海外オフィスの機能向上を図る。
通年	web ページ等を通じた情報発信	オフィスの web ページを日本語、英語、あるいはマレー語で頻繁に更新することで、絶えず情報発信をし、本学をアピールする。

6. 平成26年度経費使用計画（平成26年度予算要求額に基づき記載願います。）

経費の内訳	金額（円）	備 考
【基盤的経費】		
業務委託費	1,800,000	オフィス運営の委託業務 150,000 円×12 ヶ月
通信費	30,000	オフィス電話代 2500 円 x 12 カ月
消耗品	50,000	事務所消耗品代
	10,000	コピー代
【プログラム経費】		
・藻類バイオマスエネルギー国際共同研究シンポジウムの開催	950,000	(10 月) 旅費 200,000 円 x 4 名 会議費 100,000 消耗品費 50,000 円
・MJIT-JUC ジョイントシンポジウム参加、協力	800,000	(11 月) 旅費 200,000 円 x 4 名
・マレーシア連携シンポジウムの開催	550,000	(11 月) 旅費 200,000 円 x 2 名 会議費 100,000 消耗品費 50,000 円
計	4,190,000	

7. その他（特記事項）		
	実施計画	目的、内容、効果等
10月	藻類バイオマスエネルギー国際共同研究シンポジウムの開催	マレーシアで藻類バイオマスエネルギー国際共同研究シンポジウムを開催し、若手研究者や大学院生に海外での発表の機会を与えることで、筑波大学とMJITやUTMとの学術交流のさらなる活性化を図ると共に、国際共同研究を活発化させる。
11月	MJIT-JUC ジョイントシンポジウム参加、協力	クアラルンプールで行われる MJIT と JUC が共同で実施するジョイントシンポジウム開催の協力をを行うと共に、本学からもシンポジウムに参加することで、MJIT および JCU 参加校との間の連携を強化することにより、人的交流をさらにスムーズにさせる。
	マレーシア連携シンポジウムの開催	筑波大学において県、市、大学内研究者などを集め、クアラルンプールオフィスの活動報告やシンポジウム、交流会を行い、オフィス運営の理解と協力を得ることにより、マレーシアの知名度と親近感を増加させる。

（備考）活動計画における参考資料があれば、添付願います。